

## 全日本中事務局だより

熊本地震「被災地の学校教育再建」を支援する募金活動について

全日本中学校長会では、各校長が一日も早く学校再建を図れるよう、左記の要領で募金活動を行うことを提案し、5月25日の全日本中第1回理事会で御承認をいただきました。各都道府県中学校長会・同事務局・会員各位の御理解と御協力を賜り、温かい御支援をよろしくお願い申し上げます。

### 1 募 金 1 口 千円

2 募金の範囲 熊本県・大分県とす  
でに募金等を行い集金・送金済みの  
都道府県を除く、全日本中学校長会  
会員

### 3 募金期間・集約 平成28年6月か ら7月末日まで各都道府県中学校長 会事務局に集約し、全日本中左記口座 に振込

### 4 全日本中募金受付口座

#### ①銀行名 三菱東京UFJ銀行

虎ノ門支店(店番 041) 普通預金

□座番号 07300088

□座名義「支援募金口」全日本中学校

長会 堀井 荘夫(シエンボキングチ  
ゼンニホンチュウガクコウチヨウカイ  
ホリイ シゲオ)」

#### ②銀行名 ゆうちょ銀行

記号 10060 普通預金

□座番号 84778131

□座名義 全日本中学校長会(ゼンニ  
ホンチュウガクコウチヨウカイ)

他の金融機関からの場合は

店名 008(読みゼロゼロハチ)

店番 008 普通預金

□座番号 8477813 名義は同じ

5 9月初旬までに被災県(熊本県)中  
学校長会事務局に送金

※別途振込手数料がかかりますので、  
ご了承ください。  
※領収書は発行しませんので、ご利用  
明細票をお使いください。

#### 第1回理事会情報交換の概要①

5月25日の第1回理事会の後半、全  
国を6地区に分け、情報交換を行いま  
した。各地区からの報告を紹介します。

今回はテーマI キャリア教育の内容  
及び方法を生かした進路指導ついて

#### 北海道・東北地区

秋田県は、「志プロジェクト」といっ  
て、総合、道徳、特別活動を中心年に年  
間計画作成。世のため人のために役に  
立つ生き方を取り組む。県・市教委の  
強力なりーダーシップでキャリア教育  
を推進。岩手県は、県がキャリア教育  
の指針2つ設定。小学校から高校まで  
の一貫した流れで推進。福島市教委  
は、「中学生ドリームアップ事業」で  
1週間の体験活動を全中学校で行い、  
財政的支援、報告書の作成、市民への  
還流まで広げた取組。山形市教委は、  
企業へ依頼し、10年前から5日間の職  
場体験学習を行う。県教委は、命をつ  
なぐ、「いのちの日」を設け、地域と連

携した取組を推進。青森県は、地域の中で子供をどう育てるか、地域を好きになる子供を育て、ふるさと教育の視点でキャリア教育を推進。部活動の生徒が除雪ボランティアをし、吹奏楽部生徒が町内会の人と防犯パレードをし、子供たちが地域の中で、地域の大人と交わり将来に向けてのイメージをつくる取組。北海道は、小中の連携・中高の連携でキャリア教育を計画推進。校長の経営理念の視点、教育委員会のリーダーシップ、地域で子供たちを育てるふるさと教育の視点で推進している。

関東甲信越地区 1年生、自己理解や将来の夢について、2年生、職業観、3年生、上級学校を知るという活動で、職場体験は、各県で取組んでいるが、5日間やるから効果があらわれる。けれど、3日間がやっとところもあり、各県、5日間の実施は難しく、2日から3日が平均的。キャリア発達を促す取組で、資料を校長会が作成、生き方の教育ということで考えさせ、県

作成の道徳指導用ワークブック等を使い、総合や特別活動の中でコミュニケーション能力や人間関係形成力などを学ばせる実践例もあった。群馬・長野、新潟では人口減少流出の問題があり、いかに地元に子供たちを戻すかと、郷土を愛する郷土愛をキャリア教育に盛り込んでいる。基幹産業的などころに残る子供たち、大学に進学して地元に戻ってくる子供たち、地元のよさ、地元の高校のよさ、特色を知ることが大切で、進路指導の視点として組んでいる。

東海北陸地区 教育目標実現のため、キャリア教育を重要視。また、地域社会とのつながりで、全ての地区で職場体験・職業体験行っている。日数は1日から5日。社会貢献という総合的な学習で位置付け、生徒が自分で職業体験する場所を探し、自分で行く。総合的な学習の流れの中で実施。また、地域社会とのつながりで、保護者、PTAの方

会員訃報  
徳島県上板町立上板中学校長  
森口雅彦様 五十八歳 五月三十一日  
謹んでお悔やみ申し上げ、  
御冥福をお祈り申し上げます。  
（事務局長 堀井 篤夫）

ワークという形で、いろいろな職業人を集め、職業の講話を行っていただき、職場体験活動の場所をPTAの方々が開拓、頼みに行くという形で、地域社会とのつながりを大切にして取り組んでいる。教員の研修にかかわって、若手の先生がどこの地区も多く、初任研修を終わった2年目、6年目、11年目の研修の中に、企業での研修を含め地域貢献活動という形で研修し、キャリア教育の意義も理解してもらう。

▼近畿地区、中国・四国地区、九州地区は次号に掲載させていただきます。  
■前号だより訂正 全日中総会二日目、文部科学省大臣官房審議官 浅田和伸様に御講演頂きました。